

新しい議会で 人権尊重のまち岸和田を

住み続けたい
まちに
日本共産党



だれもが自分らしく暮らせ
だれひとり取り残さない岸和田市を
ご一緒につくりましょう！

あなたの声を市政に届けます

実現させます 私のお約束

- 小中学校の給食費をずっと無償に
- 小中学校で市独自の少人数学級を
- 子ども食堂など居場所への支援
- 福祉避難所や備蓄物資の拡充
- ローズバス改善など地域交通の拡充
- 介護保険料・国民健康保険料の引き下げ
- ジェンダー平等のまちづくり

前市議会議員

田中いちこ

プロフィール ■1959年福岡県筑豊生まれ■関西大学II部社会学部卒業■学童保育指導員、障害者支援員、相談支援専門員■2019年市議会議員に初当選(2期)■趣味はスポーツ観戦・演劇鑑賞・ウォーキング



「性加害」は許されません！ 永野耕平市長は**辞職**を

●これまでの経緯は

「強引な誘いを受け、性行為を強要された」として、大阪府内に住む女性が損害賠償を求めた民事訴訟が11月14日に和解となり、それが公(おおやけ)になったのが事の始まりです。

大阪地裁の和解調書では、市長が女性との性的関係を「市長の地位や雇用を左右しうる優越的立場」を利用したもの、また、「市長が公人で配偶者がいる身であり、非難は免れない」「女性は性的関係が続く中で精神的失調を来し、訴訟の提起にまで至った」ときびしく指摘しています。500万円の解決金と「原告への謝罪」も和解条件に盛り込まれています。

議会は市長の説明を求めましたが、明確な説明も謝罪もありませんでした。市民の怒りは激しく「市長は辞職せよ」の声が高まり、市役所前での抗議が展開されました。

●身勝手な解散

このような市民の声を受けて、議会は市長に12月20日、「不信任決議」を圧倒的多数の賛成で可決しました。

しかし、12月24日市長は自らの辞職ではなく議会の解散を選択しました。

今回の事態は市長が引き起こしたことであり、議会解散には全く道理も大義もありません。「家庭のことで不信任を出されることではない」と市長は述べていますが、相手女性を傷つけた事への反省もなく説明責任も果たしていません。公人としての市長の人権意識のなさ、市民に対する無責任さには唖然とします。

日本共産党議員団は、永野維新市政に正面からモノを言ってきました。永野市長は辞職を、そしてこれまでの維新市政を転換し、市民本位の市政実現に全力を尽くすものです。



新しい議会で
再度「不信任」を決議し
市長を**辞職**に

